

令和 7 年度
「運営に関する計画」

大阪市立味原小学校

令和 7 年 4 月

大阪府立味原小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題
<p>令和6年度の全市共通目標・学校園の年度目標ともに、ほとんどの項目で目標の数値を上回ることができた。特に、【安全・安心な教育の推進】での「いじめは、どんな理由があってもいけないことと思いますか」の項目では目標を3.6ポイント、【未来を切り拓く学力・体力の向上】での「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目では目標を6.2ポイント上回ることができた。また、【学びを支える教育環境の充実】での第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1(時間外勤務時間が45時間を超える月数0、かつ、1年間の時間外勤務時間が360時間以下)を満たす教職員の割合」の項目では目標を37.5ポイント上回ることができた。</p> <p>一方、【学びを支える教育環境の充実】での「授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く)」の項目では目標を8.0ポイント下回った。「まなびのポータル」を積極的に活用することが今後の課題である。</p>
中期目標
【安全・安心な教育の推進】
○ 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童(生徒)の割合を、85%以上にする。
○ 令和7年度の大阪府小学校学力経年調査・校内調査の「学校のきまり(規則)を守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童(生徒)の割合を、92%以上にする。
○ 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、77%以上にする。
【未来を切り拓く学力・体力の向上】
○ 令和7年度の全国学力・学習状況調査における、国語・算数の平均正答率の対全国比を上回るようにする。
○ 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を、35%以上にする。
○ 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を上回るようにする。
【学びを支える教育環境の充実】
○ 令和7年度の授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の75%以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く)
○ 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1(基準2)を満たす教職員の割合を、令和7年度末に(基準156.4%・基準284.9%)にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（上段）と結果の総括（下段）

【安全・安心な教育の推進】	
①	大阪市小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 90%（大阪市 R7 目標 90%、本校昨年度 83.6%）以上にする。
②	大阪市小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」の項目に対して、肯定的に回答する児童の割合を 92%（昨年度 91.1%）以上にする。
【未来を切り拓く学力・体力の向上】	
③	大阪市小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を 35%（大阪市 R7 目標 35%、本校 R6 学調 36.2%）以上にする。
④	大阪市小学校学力経年調査における「朝食を毎日食べていますか」に対して、肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 100%（本校昨年度 98.8%）とする。
【学びを支える教育環境の充実】	
⑤	授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 75%（大阪市 R7 目標 75%、本校昨年度 42.0%）以上にする。（ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く）
⑥	第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1（時間外勤務時間が 45 時間を超える月数 0、かつ、1 年間の時間外勤務時間が 360 時間以下）を満たす教職員の割合を 56.4%（大阪市 R7 目標 56.4%、R6 本校 87.5%）以上にする。

(様式2)

大阪市立味原小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【安全・安心な教育の推進】 ① 大阪市小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を90%(大阪市R7目標90%、本校昨年度83.6%)以上にする。 ② 大阪市小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」の項目に対して、肯定的に回答する児童の割合を92%(昨年度91.1%)以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容(上段) 目標の達成状況を測る指標(中段) R7年度の結果と分析(下段)	達成状況
取組内容①【いじめ・不登校・問題行動・児童虐待等への対応】 <ul style="list-style-type: none"> 生活指導校内委員会(いじめ防止対策委員会、不登校・虐待対策委員会)を月1回以上実施する。配慮を要する児童に関わる情報、意見交換、指導についての検討、共通理解、またいじめアンケートを基に情報の共有を行う。 校務支援SKIPの「いいところみつけ」機能を活用し、全児童の実態をいつでも教職員全員が把握できるようにする。 いじめ・不登校・問題行動・児童虐待(ヤングケアラー)の調査を関係諸機関と連携しながら進める。 学習者用端末の「スクールライフノート」を活用し、いじめアンケートを学期に1回以上実施する。 集団生活に必要な学校でのやくそく(運動場の使い方・校時表・言葉遣いの話型・持ち物)を視覚的に示し、また月に1度の児童朝会にて全体に指導し、児童自ら実施できるようにする。 「学校安心ルール」を各教室に掲示し、内容の理解について発達段階に応じて指導できるようにする。 	
指標 <ul style="list-style-type: none"> ① 年度末の校内調査において、「いじめの可能性に気づいた時点で、直ちに管理職(校長・教頭等)に報告している」とする教員の割合を100%とする。 ② 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率(昨年度2.3%)を前年度より減少させる。 ③ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合(28.6%:7名中2名)を増加させる。 ④ 年度末の校内調査において、暴力行為発見件数を6件以下(昨年度6件)にする。 	
結果と分析	

<p>取組内容②【防災・減災教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭連絡票に、緊急時に伴う引き渡しの際に引き取りに来る保護者を記入する欄を設けて、年度当初から把握できるようにする。 ・ 全児童の住所を確認し、地区別集団下校がしやすい班編成を行い、緊急時に伴う集団下校訓練の企画・運営をする。 ・ 火災・地震・津波・不審者による避難訓練を年間3回実施する。 ・ 1934年9月21日に関西地方を襲った室戸台風で、味原小学校の児童16名、教職員2名が亡くなった。被災者を悼む心と次代への教訓として、災害の記憶を忘れないように心がけるようにする。 <p>指標</p> <p>⑤ 校内児童アンケート調査(1月調査)で「学校に在る間に、火事や地震などが起った場合、先生の指示を聞き、落ち着いて避難することができますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を100%(昨年度97.3%)とする。</p> <p>結果と分析</p>	
<p>取組内容③【安全教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学級活動の時間を中心に、他教科等の時間と関連させながら情報モラル教育を行う。外部講師を招聘し、出前授業を行う。 <p>指標</p> <p>⑥ 校内児童アンケート調査(1月調査、5・6年生と5・6年生保護者対象)で「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を100%、保護者の割合を93%以上にする。</p> <p>結果と分析</p>	
<p>取組内容④【道徳教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳教育の推進を図る研修を行う。 ・ 3つの重点内容項目(親切・思いやり、規則の尊重、個性の伸長)に関する公開授業を行う。 <p>指標</p> <p>⑦ 道徳教育に関する研修を受講して「自校の取組に活用できた」と回答する教員の割合を100%(昨年度94%)とする。</p> <p>結果と分析</p>	
<p>取組内容⑤【キャリア教育の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体系的な「キャリア学習」に取り組むための年間指導計画を作成し、実施する。 ・ 生活科、総合的な学習の時間を中心に、外部の方(地域の人や外部講師等)と接する機会を各学年、年間で1回以上設ける。 <p>指標</p> <p>⑧ 校内児童アンケート調査(1月調査)で「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合が81%(大阪市R6目標80.5%、本校R6学調86.5%)以上にする。</p>	

結果と分析	
取組内容⑥【人権を尊重する教育の推進】 ・ 『『学校園における校内人権教育・啓発推進計画』実施計画』を作成し、実施する。	
指標 ⑨ 年度末の校内調査において、『『学校園における人権教育・啓発推進計画』実施計画』の達成評価において、「達成できた」と回答する教員の割合を 100%（昨年度 97%）とする。	
結果と分析	
取組内容⑦【インクルーシブ教育の推進】【多文化共生教育の推進】 ・ 児童理解研修会を学期に 1 回以上実施する。配慮を要する児童に関わる情報、意見交換、指導についての検討、共通理解を行う。 ・ たてわり班活動を月 1 回以上実施し、自分の長所や自分らしさに気づき、活動の中で発揮できるようにしたり、自分の思いや相手の気持ちを大切にする場を設定したりする。 ・ 全校遠足、味原フェスティバル、たてわり班活動などでは「リーダーシップ」「フォロワーシップ」の役割を示し、学年や立場に応じて責任を果たそうとすることができるようになる。 ・ 児童全員が場に応じたあいさつや言葉遣いが身につけられるように、児童会児童を中心に取組を考え、実践できるようにする。	
指標 ⑩ 校内児童アンケート調査(1 月調査)で「自分には、よいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合が 89% (大阪市 R7 目標 77%、昨年度 88.3) 以上にする。 ⑪ 校内児童アンケート調査(1 月調査)で「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合が 100% (大阪市 R7 目標 96%、本校 R6 学調 97.5%) とする。	
結果と分析	

(様式2)

大阪市立味原小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【未来を切り拓く学力・体力の向上】 ③ 大阪市小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を 35%(大阪市 R7 目標 35%、本校 R6 学調 36.2%)以上にする。 ④ 大阪市小学校学力経年調査における「朝食を毎日食べていますか」に対して、肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 100%(本校昨年度 98.8%)とする。	

年度目標の達成に向けた取組内容(上段) 目標の達成状況を測る指標(中段) R7年度の結果と分析(下段)	達成状況
取組内容⑧【就学教育前カリキュラム等に基づいた教育の推進】 ・ 味原小学校教職員が味原幼稚園の公開保育、公開授業後の検討会、作品展に参加したり、味原幼稚園の教職員を味原小学校の公開授業や討議会に招待したりして、意見交流を行う。学期に1回以上、幼小連携部会(小学校・幼稚園職員で編成)を行い、「味原アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム」の検討を行う。	
指標 ⑫ 年度末の校内調査において、「幼小連携に対する意識が高まってきましたか」に対して、肯定的な「高まってきた」と回答する教員の割合を 100%(昨年度 100%)とする。	
結果と分析	
取組内容⑨【言語活動・理数教育の充実(思考力・判断力・表現力等の育成)】【主体的・対話的で深い学び】の推進(個別支援の充実)】【全市共通テスト等の実施と分析・活用】 ・ 全学級で、必要に応じた重点的な指導や指導方法等の工夫をして「指導の個別化」を行ったり、一人一人に応じた学習活動・学習課題の提供をする時間を確保して「学習の個性化」を行ったりする。 ・ 全学級で、多様な他者(同学級や同学年、異学年の児童、地域の人等)と協働する授業を行い、異なる考え方の組み合わせ、よりよい学びを生み出すことを目的とした「協働的な学び」を実現する。 ・ 年1回、同学級以外の他者(同学年、異学年の児童、地域の人等)と協働する授業を行い、異なる考え方が組み合わせり、よりよい学びを生み出した事例を収集する。	

<p>指標</p> <p>⑬ 校内児童アンケート調査(1 月調査)で「自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を 40%以上とする。(本校 R6 学調：59.9%)</p> <p>⑭ 校内児童アンケート調査(1 月調査)で「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を 60%以上とする。(本校 R6 学調 73.6%)</p> <p>⑮ 小学校学力経年調査における、国語・算数・理科・社会・英語の平均正答率の対大阪市比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。</p> <p>結果と分析</p>	
<p>取組内容⑩【英語教育の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校 6 年間を通して、英語モジュールや外国語活動、外国語の内容を系統立てた指導計画を作成し、児童の発達段階に応じた指導を行う。 ・ 週 3 回は味原タイムで英語モジュールを全学級で行う。年間 8 回、英語集会を行う。 <p>指標</p> <p>⑯ 校内児童アンケート調査(1 月調査)で「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 87%(昨年度 86.9%)以上にする。</p> <p>⑰ 校内児童アンケート調査(1 月調査)で「外国語（英語）の授業で学習したことを使っていろいろな人と話をしたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 84%(R6 経年本校 83.5%)以上にする。</p> <p>結果と分析</p>	
<p>取組内容⑪【体力・運動能力向上のための取組の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育科における「体づくり運動」「器械運動」「陸上運動」「水泳」「ボール運動」「表現運動」のいずれの領域に苦手意識を持っているのか実態を把握し、授業改善を行う。 ・ 4 月の体力テストの記録を基に、10 月の記録の目標を児童自らが設定するようにする。練習メニューを考えたり、計画的に取り組んだりして、体力・運動能力向上に向けて自己調整しながら取り組むことができるようにする。 ・ 体力・運動能力向上に向けて、体育科の授業や休み時間に、なわとびやかけ足、ボール投げ等の運動に取り組みやすいように、校内運動環境を整備する。 <p>指標</p> <p>⑱ 校内児童アンケート調査(1 月調査)で「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 72%(大阪市 R7 目標 62.6%、昨年度 71.5%)以上にする。</p> <p>⑲ 体力テストの全種目において、4 月に比べて 10 月の記録の方が良い児童の割合を 56%（昨年度 56.0%）以上にする。</p>	

結果と分析	
取組内容⑫【健康教育・食育の推進】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学期に1回健康週間を設定し、全学年で出前授業を実施する。 ・ 年に2回程度「食に関する指導」を実施する。 ・ 全学級で、毎日の給食時間に給食献立を紹介する。 	
指標 <p>⑫ 校内児童アンケート調査(1月調査)で「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」に対して肯定的に回答する割合を77%(大阪市R5年度実績89.3%、本校R5年度83.0%)以上にする。</p> <p>⑬ 年度末の校内調査において、「食に関する指導について適切な評価指標を設定し評価をしているか」に対して、肯定的に回答する教員の割合を100%(昨年度100%)とする。</p>	
結果と分析	

(様式2)

大阪市立味原小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標の達成に向けた取組内容、目標の達成状況を測る指標、結果と分析	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 ⑤ 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の75%(大阪市R7目標75%、本校昨年度42.0%)以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く) ⑥ 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1(時間外勤務時間が45時間を超える月数0、かつ、1年間の時間外勤務時間が360時間以下)を満たす教職員の割合を56.4%(大阪市R7目標56.4%、R6本校87.5%)以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容(上段) 目標の達成状況を測る指標(中段) R7年度の結果と分析(下段)	達成状況
取組内容⑬【ICTを活用した教育の推進】【データ等の根拠に基づく施策の推進】 ・ 毎日の「心の天気」入力(登校時・下校前)や「学びの天気」入力(授業後)、毎日の連絡帳の配信、学期に1回以上の「いじめアンケート」の実施を学習用端末で行う。 ・ 1学期中に、全学年でオンライン学習を行う。学習欠席児童へのオンライン学習など、全児童の学習保障を行う。 ・ SKYMENUやデジタルドリル(navimaを含む)を活用し、学習履歴や学習行動記録等のデータを集積し、各児童、各学級、各学年のデータ変化を分析し、指導に生かす。	
指標 ② 校内児童アンケート調査(1月調査)の「PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」の項目について、ほぼ毎日と答える児童の割合を75%以上とする。(R6学調:75.0%)	
結果と分析	
取組内容⑭【働き方改革の推進】 ・ SKIP連絡掲示板を効果的に活用したり、企画・立案・実施する際は、起案者が事前に意見を集約し、起案書を作成して、各校務分掌の部長、教頭、校長の決裁を得た後、実施するという形式(決裁制)を導入したりすることで、教職員全員出席の会議回数の削減、会議時間を短縮する。 ・ 教職員全員出席の会議の際は、時程を計画案で知らせる。 ・ 会議等の書類を電子化して配付したり、保護者配付の手紙をミマモルメで配信したりして、ペーパーレス化を進める。 ・ 毎週水曜日にノー残業デー(全教職員17:30退勤)、月1回ゆとりの日(放課後に会議を入れない日)を設定する。	

<p>指標</p> <p>②③ 第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 2（1 年間の時間外勤務時間が 720 時間以下、時間外勤務時間が 45 時間を超える月数 6 以下、時間外勤務時間が 100 時間を超える月数 0、直近 2 ～ 6 か月の時間外勤務時間の平均が 80 時間を超える月 0、すべて）を満たす教職員の割合を 100% (R7 大阪市目標 84.9%、R6 本校 100%) とする。</p>	
<p>結果と分析</p>	
<p>取組内容⑮【教員の資質向上・人材の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食物アレルギー研修やエピペン研修、普通救命講習、各教科教育研修、特別支援教育研修、hyper-QU を活用した児童理解研修など、教員の資質向上に関する研修を企画・運営を行う。 ・ 若手教員を中心とする若手教員指導力推進委員会を設置する。推進委員会のメンバーが学びたいことを中心としたメンター研修（推進委員会）を月 1 回以上、企画・実施する。 ・ 教員の授業力向上を目指した、各教科領域等の研修を学期に 1 回以上企画・実施する。 	
<p>指標</p> <p>②④ 年度末の校内調査において、「研修で得た知識や気づきを、今後活かすことができそうと思いますか」に対して、肯定的に回答する教員の割合を 100%（昨年度 97%）とする。</p>	
<p>結果と分析</p>	
<p>取組内容⑯【カリキュラム・マネジメントの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年度当初に全学年の全教科・領域の年間指導計画を作成する。それを基に、年間を通して実施し、成果と課題をまとめる。年度末に、カリキュラム・マネジメント部会を行い、各学年で実施した年間指導計画の成果と課題を全教職員で共有し、年間指導計画の改善を行う。 	
<p>指標</p> <p>②⑤ 年度末の校内調査において、「指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか」に対して、最も肯定的な「よくしている」と回答する教員の割合を 35% (大阪市 R7 目標 35%、本校 R6 年度 10.0%) 以上とする。</p>	
<p>結果と分析</p>	
<p>取組内容⑰【「大阪市子ども読書活動推進計画」に基づいた取組】【学校図書館の活性化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 貸し出し 1 回につき、2 冊（令和 6 年度は 1 冊）までとする。保護者への図書の貸し出しができることをアナウンスすることで、親子での読書を推進する。 ・ 季節や各学年の学習内容に応じて、学校図書館の本の展示の仕方を工夫する。 ・ 毎週火曜日の 8:30～8:45 に読書タイムを設定する。 ・ 週 3 回、図書委員会を中心に、おすすめの本を紹介するなど、読書活動推進を行う。 ・ 本の貸し借りをデータ化し、全児童の貸し借りの進捗状況を把握し、個に応じて支援する。 	

<ul style="list-style-type: none"> ・ 読書週間を設定したり、大阪市立天王寺図書館と連携して「おはなし会（読み聞かせ）」を全学級で開催したりする。 ・ 大阪市立図書館による団体貸出を利用し、調べ学習への支援を行う。 ・ PTA 図書委員の保護者と連携しながら、読書活動推進を行う。 	
<p>指標</p> <p>②⑥ 校内児童アンケート調査(1月調査)の「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 82%(大阪市 R7 目標 76.5%、本校 R6 年度 81.7%)以上とする。</p> <p>②⑦ 校内児童アンケート調査(1月調査)の「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）」に対して、「読書を全くしない」と回答する児童の割合を 13%(大阪市 R7 目標 23.5、本校 R6 年度 13.7%)以下とする。</p>	
<p>結果と分析</p>	
<p>取組内容⑱【教育コミュニティづくりの推進】【地域学校協働活動の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校と PTA 役員・実行委員で、昨年度の PTA 常置委員会の活動を振り返り、各委員会の活動内容を見直し、修正する。年度末に、各委員会の成果と課題を共有する。 ・ 運動会、作品展、清掃活動等の学校行事や、芝生除草作業、芝生開放デー、地域花見の会、防災フェスタ、もちつき大会、ボッチャ大会などの地域行事を学校と保護者、地域と連携しながら実施する。その様子を、学校ホームページやはぐくみネット「味原っ子 NOW」や緑化推進（芝生化）事業広報誌などで伝える。 	
<p>指標</p> <p>②⑧ 年度末の校内調査において、「地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営など、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか」に対して、肯定的に回答する教員の割合を 100%(大阪市 R7 目標 85%、本校 R6 年度 100%)とする。</p>	
<p>結果と分析</p>	